



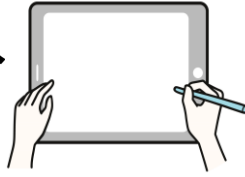
浅見みどり通信

日本共産党東村山市 新人市議会議員（3年目突入）



市議会のタブレット導入

おかしいことだらけ



議会のICT化（情報通信技術の活用）を進めるとして、議会にタブレットを導入する計画が進められています。

6月、議会ICTプロジェクトチームから、タブレットの調査を進めたいという提案がありました。同意したのは調査だけ。導入するとは聞いていません。

突然、初年度の費用だけで約500万円も掛かるタブレット導入ありきのICT化が進められたのです。

日本共産党、草の根市民クラブ朝木議員、立憲民主党藤田議員の7名は、タブレットの導入には反対してきました。議員の中には「私はタブレットがほしい」「将来の議員のために」という人もいますが、引退もしないのに将来の議員を持ち出すのは筋が通りません。タブレットを持つと議会の質が向上するという意見も出ましたが、道具と質とは別次元の問題です。

コロナ禍で、お金を使いたい市民への税金の使い道はいくらでもあります。そんなにタブレットがほしいなら自費で購入して頂きたいです。

※ こうした議論は、議事録が作成されず、市民からは見えない全員協議会で行われました。公開が必要です。

意見が一致しないまま、突然、自民党・公明党の議員・佐藤まさたか議員から「ICT技術を積極的に活用し、さらなる議会改革を進める決議」が提出。

共産党2分、会派に属さない議員1分という短い質問時間の追加で公の議論ができたという口実をつくり、決議が採択されてしまいました。

採択した決議は「議会の総意」であると、市議会だよりには経過も反対意見も一切掲載されません。

市民には「市民に開かれた議会を目指す」と言っているのに、議論がまとまらない段階で決議を提出すること自体、数の力で押し通す強行そのものであり、少数意見を軽視するものです。

#困った時は共産党に相談しよう

浅見みどりの連絡先

メール kwiiykchan@tbz.t-com.ne.jp

電話 080(3086)2422

☆市役所窓口、ほっとシティ、社会福祉協議会等への同行致します。

☆自分が使える制度が分からない、申請書類がうまく書けない、相談先が分からない方、お気軽にお声掛けください。

☆一緒に解決策を探します

私達はICT化すべてに反対するものではありません。一律にタブレットを導入することに賛成できないだけです。

日本共産党は、10月5日、「ICT技術を積極的に活用し、さらなる議会改革を進める決議」を強行した議会運営について抗議と要望を提出しました。

今後のタブレット導入については未知数。議会の動向について注視し、市民の同意が得られないお金の使い方に、議会の中で声をあげていきます。



市民と野党の共同が広がりました。
これからも宮本徹さんと共に前へ!